

サービスの質向上部門

社会福祉法人ほなみ会

デイサービスセンター南風

「選べるデイサービス」選択制プログラムの導入



サービス種別	通所介護
所在地	浜松市南区倉松町593番地
電話番号	053-449-8101
職員数	26人
設立	2003年
メールアドレス	dai1-day@h-minamikaze.com
ホームページ	http://www.h-minamikaze.com

取組紹介

1 介護予防サークル 「楽心出（たのしんで）」

介護予防の運動を中心に行うことで、地域住民の健康増進に努めるという思いから始まった介護予防サークルである。地域の方と会合を重ね、週1回からのスタートであったが、現在は週3回活動している。

2 「新津はたら倶楽部」の活動

認知症の症状がみられる高齢者の社会参加の機会を提供する有償ボランティア活動。職員が同行して、デイサービスのご利用者が草むしり、洗車等の作業を実施する。地域社会とつながることが出来る貴重な活動である。

3 プログラムのリニューアル ～認知機能の機能訓練～

「選べるデイサービス」をコンセプトに回想法、園芸療法、音楽療法等々、認知機能の機能訓練を用意することで、これまでの集団活動からそれぞれが小グループ制で活動できるようプログラムを一新した。

受賞者メッセージ

デイサービス南風は、開所当時から毎日楽しく運営させていただいております。

しかしながら、昨今の多様化するニーズの変化には対応が難しく、何とか時代についていきたい、今後も長くご利用者そして働く職員に愛される場所でありたい、そんな思いからプログラムを一新しました。

まだまだ、プログラムは完成されていませんが今後もご利用者に選んでいただけるようにこの授賞を励みにチーム一丸で取り組んでいきたいと思っております。



Pick UP!

プログラムのリニューアル～認知機能の機能訓練～

◆取組を始めた経緯

有志の職員でイノベーションチームを立ち上げました。「もし自分が利用者だったら、こんなデイサービスに通いたい」というテーマからプログラム一新するまでに約1年ほどかけて行いました。

◆取組の概要・特徴

従来の単一的なプログラムの提供を一新しました。

アセスメントから導き出された課題に対する個別ケアに加え、「自ら選択する」選択制プログラムを導入しました。

そうすることで、ご利用者自身がより高いモチベーションで機能訓練に向き合うことができるようになります。

また、職員も少人数のご利用者に向き合うことができるようになり、個別ケアの質の向上に繋がると期待しています。



◆工夫したこと苦労したこと

デイサービスにおいて入浴サービスは最優先のサービスです。また、個別機能訓練も同様です。それらのプログラムと同時進行できるようにプログラムを作成すること、職員を配置することに苦労しました。

認知症リハビリテーションの知識を改めて勉強する時間を設けてイノベーションチーム中心に広げていくことも大変な作業でした。



◆取組の成果

ご利用者が自ら選択できるメニューを用意することで、より満足度の高いプログラムを提供することができるようになりました。

プログラムの一つである園芸療法では、畑の土づくりからスタートし、農作物の実りを迎えることができました。

参加しているご利用者の生活に張り合いが出てきました。また、職員も新しい取り組みの中で、新たな知識を身に付けること、考えることが自然と増え、仕事に対する姿勢が前向きになったと思います。

今後に向けて

選択できるプログラムは整いましたが、各プログラムの評価や課題がまとまっていないため、今後は仕組み作りで留まることなく、しっかりと評価をしていきたいと思っています。

そして、ご利用者のニーズや利用者層の変化に対応するため、今後も事業所内だけでなく多職種や地域の方の意見も取り入れていきたいと思っています。

サービスの質向上部門

社会福祉法人春風会 プレーゲあしたか小規模多機能型居宅介護支援事業所

「自宅で最期を迎えたい」 願いを実現するために
～在宅看取り支援への取り組み～



サービス種別	小規模多機能型居宅介護
所在地	沼津市東椎路1639-1
電話番号	055-967-3402
職員数	15人
設立	2014年
メールアドレス	pflge-ashitaka@lake.ocn.ne.jp
ホームページ	https://www.shunpuukai.com

取組紹介

1 看取り支援振り返りと勉強会の開催

利用者の人生の最期を自宅で迎えたい。そんな願いを当たり前支援できる事業所となるため一昨年度末にお亡くなりとなった方の「看取り支援の振り返り」を行ない、今後の看取り支援に活かせるようにした。

2 在宅での看取り支援の実践

長年、プレーゲあしたかで過ごされてきた方が、「人生の最期を迎える」準備をすることとなった。大好きな自宅で大好きな人のそばで穏やかな後悔のない最期を迎えることができるように取り組みを実践した。

3 小規模多機能における 看取り支援が当たり前となる為に

小規模多機能に求められる「なじみの関係」で最期まで支援していけるために、調査、ケアの振り返り、事業所の課題を検討して、在宅看取りが当たり前支援できることを職員間で共有、地域への発信ツールを作成した。

受賞者メッセージ

開設8年目を迎えまだ学ばせていただくことが多い中、このような名誉ある賞を受賞させていただき大変感謝しております。

介護理念の2番目「あなたの力とあなたらしい暮らしを支える為、真心の専門職とOneチームに努めます」をもとに利用者様の「当たり前の生活とは何か」を常に模索しより良いサービスが実践できるよう努力を続けていきたいと思っております。



Pick UP!

なじみの場所で、なじみの人と最期まで。 在宅における看取り支援の実践

◆取組を始めた経緯

「家に帰りたい」というご本人の希望、コロナ禍という社会的背景、何より「家族と最期まで過ごしたい」というご本人、ご家族の願いを実現させることができるよう、事業所のできる支援を考え、実践しました。

◆取組の概要・特徴

開設以来、看取り支援実績のない事業所でしたが、当事業所を長くご利用されていた方の状態が変わり、看取り支援を意識するようになった時、自分たちに出来ることは何か、どんな支援が必要なのかを常に考え、支援に入りました。

ご本人への適時適切なタイミングでの支援、そしてご家族の想いを大切にしながら、最期の最期まで事業所職員がOneチームとなってご本人、ご家族に寄り添った在宅での看取りができました。

本当に貴重な経験をさせて頂きました。



◆工夫したこと苦労したこと

泊り、通い利用時は24時間体制ですが、ご自宅に戻られてからも24時間体制で支援にいらさせていただきました。

ご本人への支援はもちろん、ご家族の不安に常に寄り添えるよう職員との「相談タイム」を大切にしながら、ご本人との関係性だけでなく、職員とご家族とのなじみの関係づくりに努めました。



◆取組の成果

看取り支援を終えてご家族から「最初から最期までプレーグあしたかさんで良かった」という大変ありがたいお言葉を頂くことが出来ました。

穏やかな後悔のない看取り支援が出来たことは成果の一つですが、この想いに甘んじることなく事業所の課題、役割、そしてあるべき姿を更に高めていく機会を与えて頂いたと感じます。

在宅に特化した事業所として、お一人お一人の願いや希望に応えられるサービスを目指していきたいと思います。

今後に向けて

「住み慣れた家で、大好きな人のそばで最期を迎えることがどれだけ幸せなことなのか」在宅での看取り支援をする中でご利用者様、ご家族様が私たち職員に教えてくれたことでした。

小規模多機能だからこそ「在宅で看取りが出来る」そんな当たり前の生活が支援できるようこれからも頑張っていきたいと思います。

サービスの質向上部門

矢崎総業株式会社

ヤザキケアセンター紙ふうせん

自分らしく生きる空間づくりのスペシャリストになるぞ！

～私たちにしかできない介護～



サービス種別	グループホーム
所在地	裾野市御宿1500
電話番号	055-965-0633
職員数	51人
設立	2006年
メールアドレス	smb_kamifuusen@jp.yazaki.com
ホームページ	https://www.care-net.biz/22/kamifuusen/

取組紹介

1 職員全員巻き込んで、みんなで元気に！

施設職員の2割（51人中11人）が専門職の紙ふうせん。その人材の専門的能力を最大限に活用してグループホームの利用者様が健やかに過ごせるよう、健康観察の実施、リハビリの提供を実現。

2 利用者様のやりたいことを実現するぞ！

個々に24時間シートを作成し、その人らしい生活になるよう支援している。また、「やりたいことシート」を作成し、目標をたて、達成に向けて、利用者様と職員とが一緒に取り組み、実現できるよう支援している。

3 社内人材活用・育成で、地域も良くなる活動を実施！

他部署の職員と共に、見守カメラの開発を実現。職員の負担軽減に繋げた。毎年、矢崎総業の新入社員100人程度（全国に配置される）を対象に認知症サポーター養成講座を実施し、育成している。

受賞者メッセージ

2020年に職場環境改善部門で受賞をいただき、今回、サービスの質向上部門で受賞いただきました。これまでの事を認めて頂いたと、とても嬉しく思います。

介護の視点、医療の視点、そして株式会社の視点が融合し、全ての人が、歩み寄りながら、サービスを提供・職場改善をしてきた為、どちらの賞も受賞できたのではないかと考えています。

今後も、紙ふうせんでしかできないサービスを模索し、取り組んでいきたいと思っています。



Pick UP!

夢を叶えるぞ！みんな満足、100点満点の 笑顔を求めて

◆取組を始めた経緯

ある時利用者様の一人が、「〇〇パンがどうしても食べたい！」とおっしゃった事がきっかけで、利用者様の生活歴を見直すことになり、個々の24時間シートの見直し、身近な目標設定をすることになりました。

◆取組の概要・特徴

24時間シートを個々に作成します。次に、利用者様本人に、「やりたいことシート」を作成いただきます。

担当職員とケアマネジャーと一緒に、会話をしながら利用者様の気持ち、希望などを引き出し、利用者様本人に、やりたいことを書いていただき、そのやりたいことを実現するために、担当介護職員と他職員で企画、実施をします。

また、実現出来た内容について、写真・コメント付きお便り（コロナ禍で施設内が見えない分、なるべく細かく）を発行します。

入所時からのアルバムに思い出の写真を貼り、次の夢に向かって走ります。



◆工夫したこと苦労したこと

利用者様は認知症のため、何をしたいか表現する事が難しい方もいます。

その際は、指で希望が表現できるよう、様々な絵や写真（昔の風景、食べ物、家族等）を用意しました。

一例ですが、コロナ禍も考慮し、施設内キノコ農園を作り、自ら栽培・収穫・料理し食べる、といった利用者様の希望を具現化し、満足度向上にも繋げました。

◆取組の成果

身近な目標を達成することで、利用者様、職員共に達成感を得ることができ、満足度向上につながりました。

また、利用者様の真の希望に真摯に耳を傾け取り組むことで、職員との信頼関係も強くなり、双方自然な笑顔が多く見られるようになりました。

「施設に入ったから施設の流れに身を任す」のではなく、利用者様が自分らしく、より輝いて生活できるよう支援していくことにより、Win-Winの関係でいられることを再認識できました。

今後に向けて

紙ふうせんでは利用者のひ孫の年齢にあたる技能実習生（現在2期生）をスリランカより受入れています。

（1期生は5月に帰国）

新旧実習生を通して、異国スリランカオンライン旅行の企画を検討中です。

また、補助金を頂き完成した面会室を活用し、家族との直接会話を増やし、利用者の心のケアもしっかり行っていきます。